

報 廣

發行所 田代公民館  
電話 19 番

発行責任者 小川 兵 一  
編集責任者 前 原 勇 孝

5 月 号

印刷所 大根占印刷所  
電話 70 番

今月のこよみ

- 1日 日赤創立記念日  
2日 八十八夜  
3日 憲法記念日  
3日 地方自治法施行記念日  
5日 こどもの日  
6日 立 夏  
8日 国際赤十字デー  
12日 母 の 日

【役場からのお知らせ】

役場に新しく税務課と建設課が出来ました。

今まで総務課、民生課、経済課の三つの課でしたが今年四月一日から税務課と建設課が出来ました。

税務課長に、井手龍親、建設課長に上ノ原鉄二の両氏が任命されました。



目 標

明るい人間関係の確立

- ◎ 読書によつて教養を高めよう
- ◎ 環境をきれいにしよう

努力点

1. 親子20分読書運動の推進
2. 環境の美化
3. 部落婦人学級の強化
4. 部落成人学級の強化
5. 道德教育の振興
6. 部落公民館活動の推進

昭和38年度 社会教育事業計画 田代町公民館

別月	祝祭日 その他	行事予定表	実施要領	会 合	学級講座
3月	3日花瀬公園祭り 8日花祭り 18日発明の日 28日講和発効記念日	郷土芸大会 社会教育事業計画樹立 成人学級開設打合せ 婦人学級運営委員会 青年学級開設 母子福祉大会	花瀬公園祭りの行事として町社会教育委員会を組織 成人学級運営委員会を組織 年間カリキュラム作成 町内3学級 母子部活動に協力	社会公民館広巡母婦成人 会人年報回人学 教育団映大級 委員会画会級	
4月	29日天皇誕生日				
5月	2日八十八夜 3日憲法記念日 5日子どもの日 6日立夏 12日母の日	春の社会教育週間行事 婦人幹部研修会 部落公民館長、主事研修会 婦人学級開設 季節保育所入所見及保母募集 花いっぱい運動	各民主団体に諮る 町婦人会と共催 外部より講師を招聘する 校中央学級及地区学級を開設 町内全域に亘り各部落の協力を得る	婦人幹部研修 会	主事研修会 部落公民館長
6月	7日計量記念日 10日時の記念日 12日入梅 16日父の日 22日夏至	成人学級開設 季節保育所保母講習会 季節保育所運営責任者打合せ 季節保育所開設 父の日行事	中央学級及地区学級を開設 3日間に亘る実務講習 運営上の諸問題について打合 町内九地区に開設する 町婦人会長会に諮り検討	営季節保育所 責任者打合通	保母講習所
7月	1日国民安全の日 20日海の記念日 23日大暑	環境美化運動 部落懇談会 青年研修会 明るい社会建設講習会	町努力目標の一環行事として 町努力目標の中間反省 青年リーダー養成研修会 2泊3日間に亘る合宿訓練	部青年研修会 落懇談会	建設講習会 青年学級合同 研修会
8月	7日七夕祭り 8日立秋 13日盂蘭盆会 15日終戦の日	青年学級生合同研修会 成人学級運営反省会 夏の新生活運動 夏季大学講座 町防犯協会総会	青年と共催 成人学級運営中間反省 元費節約、生活の合理化運動 全町民を対象とする 町防犯協会に協力	成人学級反省 防犯協会総会	夏季大学講座
9月	1日二百十日 15日としよりの日 24日秋分の日	親子20分読書講演会 部落公民館主事研修会 としよりの日行事 婦人幹部研修旅行 婦人、成人各学級合同研修	町P連と共催 部落公民館活動の中間反省を兼ねる 敬老会等を通じて敬老思想の昂揚 先進地視察見学 外部より講師を招き合同学習	部落公民館 主事研修会	親子20分読 書講演会 成人学級 合同研修会
10月	1日法の日 2日仲秋の名月 17日貯蓄の日 24日国連記念日	町民体育大会 町警増強運動 成人講座 読書普及運動 国土美講演会	町体協主催バレー大会 部落公民館活動として取り上げる 道德教育講演会 町努力目標の一環行事として 全上	町民体育大会 国土美講演会 青年と婦 人と語る	成人講座
11月	3日文化の日 8日立冬 15日七五三祝 23日勤労感謝の日	文化の日行事 交通安全週間行事 青年と婦人と語る会 勤労感謝の日行事	郷土文化財の発見保護につとめる 交通安全協会に協力 青年団婦人会に協力 勤労意欲の昂揚を図る		
12月	22日冬至 23日皇太子誕生日 25日クリスマス 28日御用納め	町内十大ニュース募集 年末助け合い運動 年末年始新生活運動要綱作成 新年度町努力目標設定	町政への理解を深め協力体制をつくる 婦人会小組合に呼びかける 広報活動を通じて各部落に周知徹底 社会教育委員会に諮る		
1月	元日拝賀式 4日御用始 12日桜島噴火記念 15日成人の日 27日国旗制定記念	町努力目標発表 成人式 成人講座 青年婦人研究発表会	年始会時報ラジオを通じて 町と共催 県出場の予選会	青年婦人 研究会 公民館主 事会 部落主 事会 青年団 総会	成人式 成人講座
2月	3日節分 4日立春 11日紀元節 23日皇孫誕生日	部落公民館主事会 新年度予算編成 部落懇談会 町婦人大会	部落公民館活動推進方策研修 社会教育委員会に諮問 町主催 町婦人会主催	公民館主 事会 部落主 事会 青年団 総会	成人式 成人講座 青年学級 合同研修 会
3月	6日皇后誕生日 7日消防記念日 8日国際婦人デー 18日彼岸の日 21日春分	町振興大会 婦人学級開講式 成人学級開講式 青年学級開講式 町青年団総会	町主催 各実施機関主催	青年学級 合同研修 会 青年団 総会	成人式 成人講座 青年学級 合同研修 会

野鳥の保護を

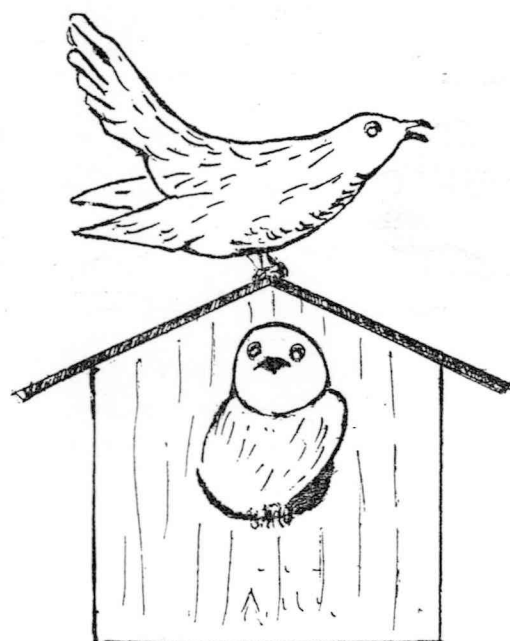
害虫を駆除する

野鳥こそ

緑の山 田畑を守る

緑の下の力もち

五月十日から一週間、愛鳥週間  
が全国いっせいにくり広げられま  
す。  
この運動は、農作物や山林の害  
虫の駆除に役立つ野鳥をもっと、  
愛護しようというものです。  
野鳥は、美しい姿やかわいい鳴  
そのもとも盛んな時期です。



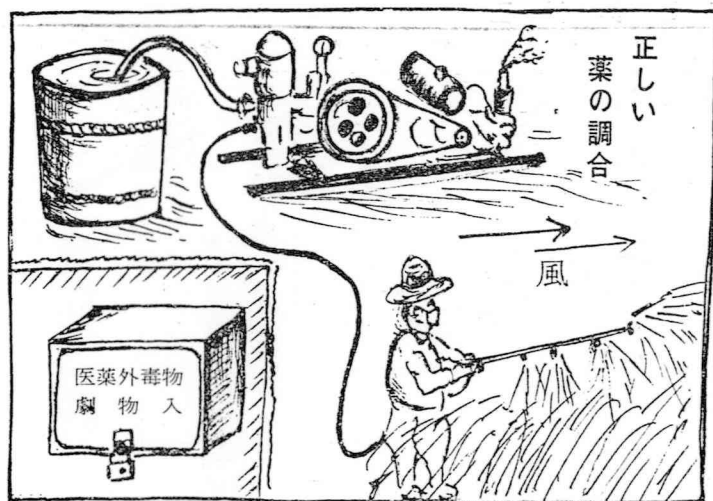
このころになると、野鳥はひな  
鳥を育てるために、いろいろな虫  
をたくさんとるわけです。  
自然公園法や狩猟法によって、  
野鳥の保護あるいは増殖がはから  
れていますが、それでも国土の開  
発などによって野鳥のせい息範囲  
がせばめられ、減少しつつありま  
す。また一方では、野鳥の乱獲や  
強力な農薬などのためにも減少の  
一途をたどっているわけです。  
最近では、農作物や山林の害虫駆  
除には、農薬がさかんに使われて  
いますが、これは多くのお金や労  
力がかかるわりに、駆除の効果は限  
られた範囲にしか役だっています。  
これを補うには、なんといつて  
も小鳥にたよるほかありません。  
そこでこのような大きな役目を  
してくれる小鳥たちの保護のため  
には、小鳥たちが自然のままの姿  
で、自由に飛びまわって生活でき  
るようにしてやることがたいせつ  
なことといえましょう。  
◎ この週刊を機会に、次のこと  
がらを実施して、野鳥の愛護  
運動を行なっていきましょう。  
① 巣箱を設けてねぐらをつくっ  
てやりましょう。  
② 小鳥（野鳥）の好んで食べる  
実のなる木を植えてやる（冬  
に実のなる木がよく、ハゼ、



健康保険税の第1期  
軽自動車税の前期 納期です

たべものがくさるということは  
細菌や、カビや、こうぼのなま  
のこくまかな目に見えない、生  
物が、たべものについてふえ、た  
べものをほかのものにかえていく  
ともに悪いにおいや、害になる物  
をつくり出すことをいうのです。  
物のくさるのをふせくには、物  
をくさらせる細菌たちをころすか  
ふえるのをふせげばよいわけです  
そこで細菌たちの生活をしらべて  
見ると、細菌がふえ  
るためには、てきと  
うな温度と、十分な  
水とが必要ながことが  
わかりました。  
では、砂糖づけや  
塩づけにすると、細  
菌たちはどんなこと  
になるでしょう。  
砂糖や塩のこい液  
は、細菌たちのから  
だから水をうばいと  
るはたらきがあるの  
です。  
砂糖づけや塩づけにすると、  
なぜくさらないのでしょうか。

# 農薬の空ビン・空ふくろは かならず始末を!!



## 県内における農薬の事故

昭和34年.....89件 昭和37年.....42件 (死亡36人)

内 39件が自殺及び自殺未遂 7件が作業中の事故

種類別に見ると	毒物	ウズブルン E P N	.....18件	特定毒物 (ホリドール特定毒物)	.....12件
				パラチオン剤	
	普通物	DDT乳剤 マラソン	.....9件	劇物	バイジット乳剤.....3件
				デブテレックス	

## ＝春の交通安全運動＝

鹿児島県交通安全対策協議会では、全国交通安全運動のおもむきにそって、5月11日から20までの10日間、交通安全運動を実施することになっています。

つぎの事がらがこの運動のおもな努力目標となつていますが、いずれもわたしたちの命を守るうえでだいじな問題ですので、この運動期間中はもちろんのこと日常これらのことを実行に移すようにしていきたいものです

- ① 正しい運転正しい歩行の励行
- ② 児童、幼児の安全の確保
- ③ 雇用者等の義務觀念の向上 (使用人にむりじいをしないこと)
- ④ 踏切道安全通行の徹底
- ⑤ 交通環境の整備 (自動車等の路上放置等をやめる)

日本赤十字募金運動月間です

みんなそろって募金しましょう!!

## 農薬の特性に応じた使い方を!!

近ごろ農業技術の進歩発展にもなつて、ますます殺虫剤や殺菌等の多くのくすりが使われるようになりましたが、この効果は非常に大きく、年々稲の豊作も天候の良い条件にくわえて、くすりの適切な使い方が有力な原因の一つとみとめています。

しかし反面に農薬は、病氣や害虫に対して少なくとも効果を与え、ものであると同時に、なかには使う人たちや家畜、魚に対する毒性の強いものがあります。不注意な取扱いや使い方はこれを使う人たちだけでなく、一般の人たちにも危害を与え、家畜や魚などにも被害を与えます。このような危害をもたらすことのないよう、よく使い方の注意書などをよくみてわからないものは技術員に使い方をならってきめられたとおりに使うことです。

- ◎ 特に子どもの手のとどかぬところにしまつて。
- ◎ 農薬は(特に毒物、劇物はしっかりとした所に入れカギを必ずしておくよう)
- ◎ 自殺者の大半が、むさうさに放置されえている農薬を見つけてのんだ例が一番多いです。
- ◎ 薬を散布する時は必ず風上から風下にむけて散布しましょう。
- ◎ 農薬は皮膚にかかっただけで中毒を起します。
- ◎ 必ず正しい使い方をしましょう
- ◎ 劇物の薬などまいたあと池や川に流れこまないようにしましょう。
- ◎ 農薬を利用して魚をとることはしないよう。



# 小 組 合 長 さ ん 婦 人 会 長 さ ん ご く ろ う さ ん

皆さん次の方々が今年の小組合長さん、婦人会長さんに決まりました。

これから部落の中心として町の推進のためにがんばってくださいることでしょう。しかし会長さんだけに苦勞をかけないように協力してがんばりましょう。

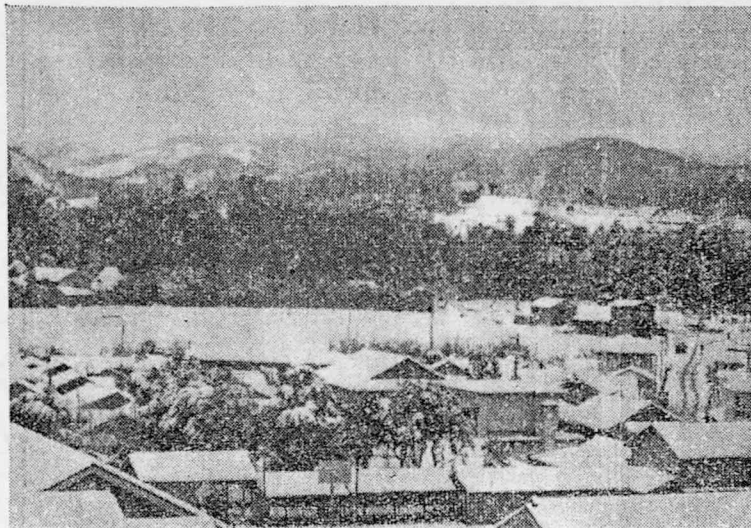
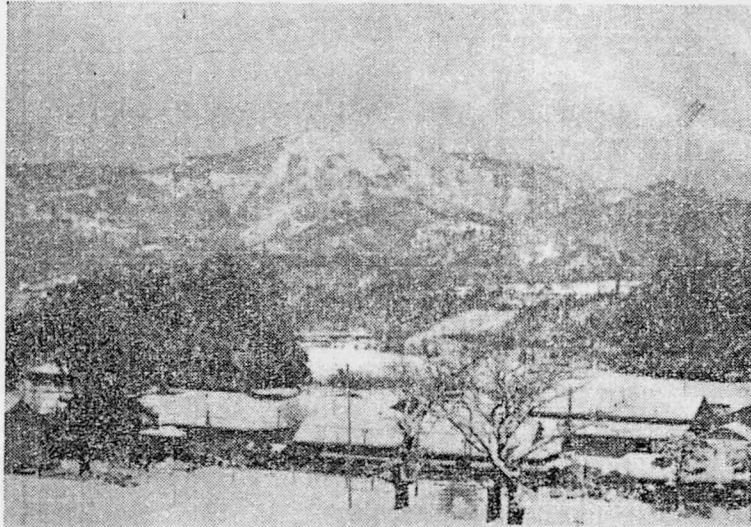
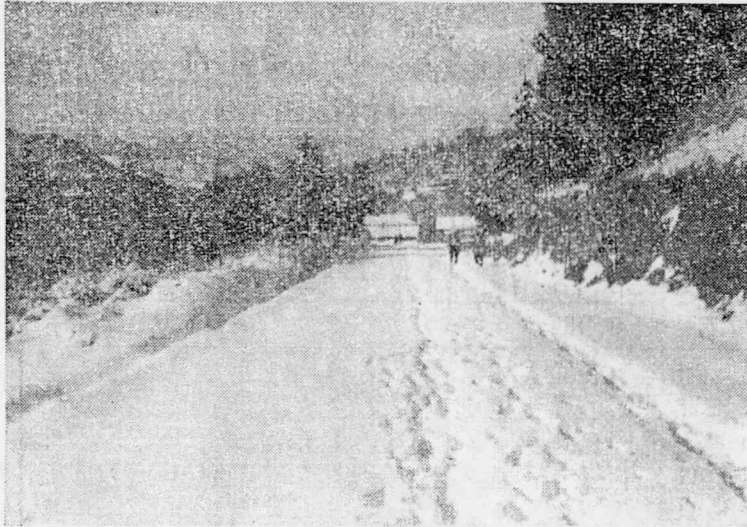
## 昭 和 3 8 年 度 部 落 役 員 一 覧 表

部 落 名	小 組 合 長 名	副 小 組 合 長	婦 人 会 長	副 婦 人 会 長
下	西 元 国 彦	平 岡 直 敏	入 船 フヂ子	姫 城 キミ子
馬 場	平 川 嵐	河 野 義 信	日 高 トツ子	小 牧 キミ
東ノ原	山 下 一 良	山 下 一 良	栗 脇 ツル子	永 田 テル
長 谷	木 佐 貫 重 則	西 田 幸 夫	徳 永 ノリ子	木 佐 貫 リツ子
西 中 郡	小 園 義 美	九 田 義 教	堀 フヂ子	市 米 シズ
東 中 郡	山 上 幸 夫	貴 田 克 巳	麦 生 田 スヂ	鶴 園 イトエ
橋ノ口	右 田 茂 美	福 留 時 義	大 山 タエ子	桑 原 イク
中 村	中 村 秋 晴	宮 園 猛	田 中 エミ	宮 園 ミサ子
山 下	南 園 勇	湯ノ谷 奎 二	田 淵 エミ	小 園 ミチ子
岩 崎	武 田 鉄 郎	市 米 栄 一 郎	折 小 野 エミ子	折 小 野 トシ子
表 木	坂 元 幸 徳	槐 島 正 春	上 吹 越 ヒミ	麦 生 田 リツ子
折 小 野	茅 野 清	茅 野 清	長 谷 友 子	宮 前 ヨシエ
山ノ口	上ノ原 熊 二	上ノ原 熊 二	宮 原 美智子	上ノ原 トキエ
西 大 原	大 浦 地 一 美	新 村 進	野 本 マキ子	中 野 ハル
東 大 原	皆 銭 哲 夫	串 町 光 則	大 原 ミチ	寺 園 イクエ
中 尾	山 野 三 造	山 野 武 夫	横 原 トモ子	指 宿 アサ子
新 田	中 野 利 雄	松 元 弘	岩 崎 アサ子	未 定
内ノ牧	山 下 義 治	中 村 清 造	中 村 ユキ	松 山 ミサ
重 岳	細 川 良 幸	島 児 清 秀	未 定	未 定
鶴 戸 野	山 脇 初 雄	松 元 正 雄	中 島 ヨシエ	大 園 スミエ
久 木 野	藤 崎 操	丸 野 叶	丸 野 エミ	浜 川 キクエ
盤 山	野 本 清	池 田 金 徳	基 カメ	竹 ウト
富 田	深 水 義 夫	吉 水 栄	未 定	未 定
平 石	松 田 種 志	平 石 健 二	山 口 ミチエ	春 山 トミ子
柴 立	瀬 口 六 男	松 崎 松 雄	山 崎 キサ子	瀬 口 ナヤ子
上 柴 立	柴 立 文 矢	未 定	池 田 カツエ	瀬 口 ミチ
上 原	近 川 幸 夫	上 原 範 夫	蓬 米 スミ	前 田 テル
原 沢	吉 村 直 義	永 田 内 匠	大 垣 チミ	原 沢 ヨリ子
池 野	貫 見 哲 郎	貫 見 富 士 郎	井 上 キミ	川 前 キヌ子
瀬 戸 口	茅 野 貢	神 田 勲	瀬 戸 口 ツルエ	浜 田 イクミ
猪ヶ倉	山 元 一 一	猪 鹿 倉 明	猪 鹿 倉 タエ子	猪 鹿 倉 アヤ子
鳥 淵	鳥 淵 節 夫	平 原 節 夫	君 付 キクエ	鳥 淵 マキエ
早 瀬	中 園 清 吉	米 森 武 夫	早 瀬 ツユ子	大 中 原 ミエ子
郷ノ原	松 崎 彦 吉	松 崎 貞 三	未 定	未 定
辺 志 切	辺 志 切 早	近 川 稔	近 川 フミ子	近 川 キヌ子
鶴 園	小 川 典 興	水 流 市 蔵	舞 原 タキ	瀬ノ口 タミ
花瀬官行	平 川 利 彦	平 川 利 彦		

# 『今年のお話から』

三月号に募集いたしました雪写真コンクールは次の写真が入選いたしました。

- ① 入選 小玉 尚次
- ② 入選 山下 静男
- ③ 入選 山下 静男



三十七年十月八日 三、〇〇〇円  
三十七年九月二四日 二、〇〇〇円  
三十八年二月十三日 一、〇〇〇円  
三十八年三月四日 一、四〇〇円

故田中遺族会長御遺族(田中省素)  
鶴園 久保クミ様御寄附  
下 西川スエ様御遺族  
三十七年度田代高校卒業生

社会福祉  
協議会へ